

アジアの音楽に親しもう（7 時間扱い）

1. 題材のねらい

旋律の特徴や響きの違いを感じ取りながら，日本を含めたアジアの音楽に親しむようにする。
日本のふし独特の響きを感じ取って，歌うようにする。

2. 教材について

（1）日本の民謡 * 音楽発表会演奏曲

《学習指導要領との関連》A(1)ア，A(2)ア，A(2)イ，A(3)ア，A(4)ア，B(1)イ

民謡，子もり歌，わらべ歌など様々な日本特有の音楽を取り上げる。日本の音楽は，わが国の伝統的な音感覚に根ざした音楽であり，古くから人々に親しまれてきた。子もり歌やわらべ歌の多くは単純なリズムで構成され，素朴でしかも優雅な曲調をもっている。日本の民謡も，昔から歌い継がれてきたもので，その地方独特の味わいをもつものが多い。リズムや旋律，音色，響きなど，それぞれが持っている独特の味わいを感じ取って聴くのに適した教材である。また，日本の音楽の響きを十分に感じ取ることができるよう，無伴奏による歌唱にも取り組みたい。

鑑賞として取り上げる楽曲は，こきりこぶし，ヨサコイぶし，かりぼし切り歌，竹田の子もり歌，五木の子もり歌，中国地方の子もり歌，通りゃんせ，ひらいたひらいた，ほたるこいである。

（2）アジアの音楽 * 音楽発表会児童の部の鑑賞

《学習指導要領との関連》B(1)イ

朝鮮半島，インドネシアなどの国々やアイヌ民族の音楽など，アジアの様々な民俗音楽を鑑賞する。日本の音楽や西洋の音楽にはない，独特のリズムや旋律などが織りなす音楽表現の美しさを感じ取り，それぞれの音楽の特徴に気付いて聴くようにしたい。また，人々が育てた独自の音楽文化の違いやよさにも気付くようにしたい。

3. 題材の評価規準

	ア 音楽への 関心・意欲・態度	イ 音楽的な 感受や表現の工夫	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力
題材の 評価 規準	日本やアジアの音楽に関心をもって聴いたり，その独特のふしを生かして歌ったりしている。	日本のふしの特徴に気付き，それを歌唱活動に生かせるよう工夫している。	声の響き合いに気を付けながら，日本の音楽の響きの違いを生かして歌っている。	日本やアジアの音楽に関心を持ち，その独特の旋律や響きの違いに気を付けて聴く。
学習 形態 にお ける 具体 の評 価 基 準	日本の音楽に親しみ，自分の歌いたい曲を選び，進んで取り組んでいる。 【Aと判断するキーワード】 積極的な発言 音楽的な根拠での選択 日本の音楽に特徴を生かせるような旋律やリズムを工夫しようとしている。 【Aと判断するキーワード】 積極的な発言 積極的な和音や楽器での音の確かめ 歌詞の内容も押さえた工夫	日本の音楽の特徴に気付き，歌詞の内容を考えながら歌い方の工夫をしている。 【Aと判断するキーワード】 歌詞の意味を調べる 積極的な発表 和声や強弱，テンポなど曲想表現を工夫している。 【Aと判断するキーワード】 積極的な発言 複数の工夫の提案	声の響きに気を付けて正しい音程で歌っている。 【Aと判断するキーワード】 キーボードなしでの音の正確さ フレーズや貸しを意識した歌唱 日本の音楽のふしまわしを音程に気を付けながら覚え，歌っている。 【Aと判断するキーワード】 無伴奏による正確な音取り 日本独特の節回しでの歌唱	日本の音楽に関心を持ち，その独特のリズムやふしの感じを既習の西洋音楽と比べて聴く。 【Aと判断するキーワード】 日本音階と西洋音階の違い への気付き 積極的な発表 友達の演奏を聴き，表現の工夫しているところに気を付けたり，アドバイスをしたりして聴く。 【Aと判断するキーワード】 積極的な発表

			<p>声と音，二声の重なりや響き合いを確かめて歌っている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 曲の山を意識した歌唱 声の調和を意識した発言</p> <p>正しい音程と声の響きに気を付けて，無伴奏で歌っている。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 アドバイスを積極的に生かす 声のまとまりを意識した歌唱</p>	<p>日本のふしを意識したアドバイス 自分の表現へ生かす アイヌ民族の音楽やアジアの音楽に関心を持ち，西洋音楽との違いを感じ取って聴く。</p> <p>【Aと判断するキーワード】 アジア独特のリズムの聴き取り 積極的な発表</p>
--	--	--	---	---

4. 指導と評価の計画（7時間扱い） : 取り扱い項目 : 取り扱い重点項目

時	主な学習内容	具体の評価規準	指導要領との関連	内容のまとまりとの関連				評価方法等
				歌唱	器楽	創作	鑑賞	
1	<p>日本の民謡や子もり歌などを聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 数曲用意し全体的に味わって聴く。 強弱やテンポ，リズムの違いなどに気を付けて，3曲を選び，今まで学習してきた西洋音楽との違いを感じ取って聴く。 自分たちとの声の出し方や歌い方の違いも感じ取るようにする。 感じ取ったことを発表する。 自分が歌ってみたい歌を選ぶ。 自分の声質や歌詞の内容，全体の曲想を考えて，歌ってみたい曲を選ぶ。 それぞれ選んだ曲の主旋律の初めの部分を歌う。 歌いながら感じたことも考えて，改めて自分の歌う曲を決定する。 	<p>エ -</p> <p>ア -</p>	<p>B(1)イ</p> <p>A(1)ア</p>					<p>行動観察 発表 学習カード 歌唱の表情</p>

2	<p>* 選択教材 【こきりこぶし】【五木の子もり歌】 【通りゃんせ】 主旋律の歌詞唱をする。 ・声の出し方や音をとりながら練習する。 ・丁寧にゆっくりとしたテンポで歌い、正しい音程で歌えるように練習する。 ・発声の仕方に気を付け、グループの声がまとまって聴こえるように練習する。 歌い方の工夫をする。 ・歌詞を読み、その内容を確認したり、独特の言い回しに気を付けて歌ったりする。 ・フレーズを意識して、呼吸の仕方についても工夫する。</p>	ウ -	A (3)ア			歌唱聴取 行動観察
3	主旋律に重なる音について話し合う。 ・ 低声部の歌唱や和太鼓のリズム演奏など、主旋律を生かす音の重なるの組み合わせを考え、話し合う。 ・低声部の歌唱を取り入れる場合には、どの部分に取り入れるかを考え話し合う。 ・和太鼓など和楽器を取り入れる場合には、どんなリズムで演奏するかについて考え話し合う。 音の重なる部分の練習をする。 ・低声部を正しい音程で歌えるよう練習をする。 ・日本の音楽の独特の節まわしに気を付けて歌う。	ア -	A (4)ア			行動観察 歌唱聴取 学習カード
4	それぞれの曲の演奏形態について話し合い、練習する。 ・斉唱や二部合唱など、演奏形態の工夫について話し合い、練習する。 ・自分の声質を確認し、合ったパートを選んだり並ぶ場所を考えたりして練習する。 曲の表現の仕方について話し合い、練習する。 ・フレーズを意識しながら、強弱や曲の山をどうつくっていくか話し合う。 ・話し合ったことをもとに練習する ・ 中間発表会に向けて、音の重なりや表現の工夫などをそれぞれ確かめながら練習する。	ア -	A (1)ア			行動観察 歌唱聴取 学習カード
		イ -	A (2)ア			
		ウ -	A (3)ア			

5 ・ 6	<p>中間発表会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの聴いてほしいポイントを発表しながら、歌う。 互いの発表演奏について、よいと思ったところ、さらに練習したり工夫したりするとよいところを発表する。 グループごとに練習する。 中間発表会でアドバイスされたことを生かして、夢伴奏での響き合いを豊かにするため、より正しい音程で歌えるよう音を確認めながら歌う。 出だしやゆっくりするところの合図を決め、タイミングが合うように練習する。 仕上げの練習をする。 互いのパートの声を聴き合い、音程が正しいかどうかを確認めながら歌う。 二つのパートや和楽器の音がきれいに重なり合っているか確認めながら歌う。 盛り上げていく部分や強弱、静かに終える部分など表現の工夫についてもグループごとに確認めながら歌う。 	エ - ウ - ウ - イ -	B (1)イ A (3)ア A (2)イ A (2)イ						歌唱聴取 発表 行動観察
7	<p>【アジアの音楽】 音楽発表会の児童の部を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の鑑賞のポイントを考えて聴く。 アイヌ民族の音楽をその独特のリズムや歌詞の言い回しに関心を持って聴く。 自分たちで演奏した民謡と比べて違うところを感じ取りながら聴く。 今まで接してきた西洋音楽とは違うところを感じ取りながら聴く。 感じ取ったことを学習カードに記入する。 	エ - エ -	B (1)イ B (1)イ						行動観察 学習カード